

# I スギ一般大径材を活かした新たな心去り製品の開発

(実施期間：平成 25 年度～29 年度 予算区分：単県課題 担当：半澤綾菜)

## 1 目的

今後市場に多く出回る大径化したスギ並材の原木価格の向上・建築構造材としての利用拡大を図るために、スギ大径材を心去り製材した場合の製材品の強度性能や反り・割れを抑制した乾燥方法を明らかにする。

## 2 実施概要

### (1) 方法

鳥取県産のスギ大径丸太を、県内の製材工場で2丁取りおよび3丁取りして心去り平角材に製材した。平角材は蒸気式木材乾燥機で人工乾燥を行い、修正挽き・モルダー仕上げをした後に目視調査および曲げ試験を行い、採材の違いが目視等級区分および強度性能に与える影響を調べた。

### (2) 結果

- ①目視調査：2丁取りした心去り平角材は1～2級に格付けされたものが全体の約50%であったことに対し、3丁取りでは80%を上回っていた。3丁取りは樹皮に近い部位から採材できることから、片面は見た目の美しい（節の少ない・小さい）製品に仕上げることができる。
- ②曲げ試験：2丁取りおよび3丁取りした心去り平角材のほとんどが無等級基準強度を上回っていた。心去り材は髓を含んでいないことから、心持ち材と比較して強度性能を不安視する現場の声もあるが、平角材での髓の有無では強度性能に差は認められなかった。

## 3 結果の図表と研究の様子



図1 3丁取り心去り平角材  
◆木表側が非常に美しい



図3 曲げ試験の様子

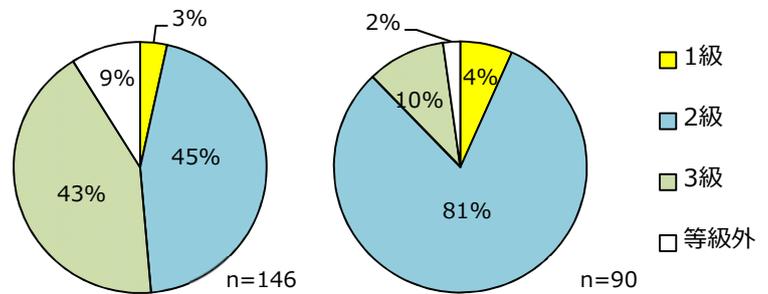


図2 目視調査の結果 (左：2丁取り、右：3丁取り)

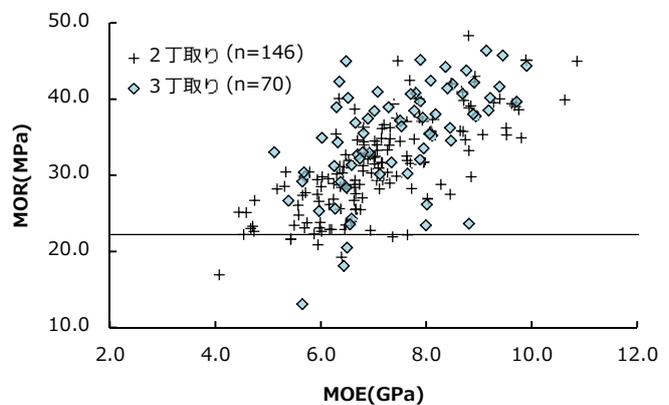


図4 曲げ試験の結果  
※図中の黒線は無等級材基準強度